



オーストラリア株式ファンド

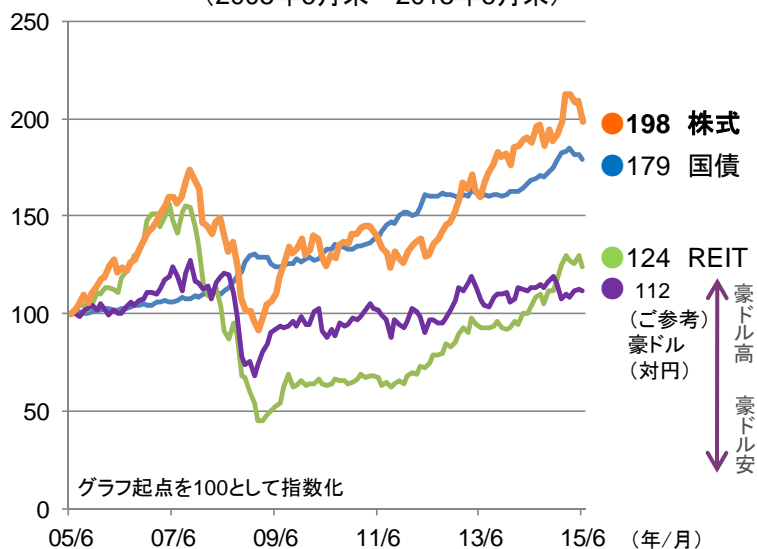
運用者が語るオーストラリア株式の魅力

オーストラリア株式は堅調な企業業績や相対的に高い水準にある配当利回りなどを背景に、近年、堅調に移ってきました。当資料では、当ファンドのマザーファンドの運用を担当するオーストラリアの資産運用会社、日興AMリミテッドからのコメントとともに、オーストラリア株式の魅力をお伝えいたします。

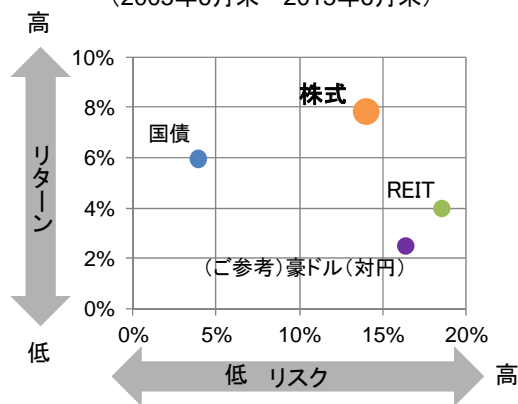
相対的に優れたパフォーマンス

- オーストラリア株式(豪ドルベース)は、10年前と比較して約2倍にまで上昇しており、他のオーストラリア資産と比較して、相対的に優れたパフォーマンスをみせてきました。
- 過去10年において、オーストラリア株式(豪ドルベース)は、同国REITと比較して低いリスク水準となりました。また、リターン水準は他の資産を上回りました。

【オーストラリア資産のパフォーマンス(豪ドルベース)】
(2005年6月末～2015年6月末)



【リスク・リターン特性(豪ドルベース)】
(2005年6月末～2015年6月末)



※リスクは上記期間の各指数の月次騰落率の標準偏差を年率換算し、リターンは上記期間の各指数の月次騰落率の平均を年率換算したものです。

※株式: S&P/ASX 200指数(トータルリターン)、国債: シティ世界国債インデックス(オーストラリア)、REIT: S&P/ASX 200 A-REIT指数(トータルリターン)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者が語るオーストラリア株式の魅力 ～魅力的な水準にある配当利回り～

【オーストラリア株式の優れた配当利回りと値上がり】

- 過去10年で、オーストラリア株式が同国の国債やREITと比較してパフォーマンスが優れている背景には、配当利回りの高さがあります。足元では、豪中央銀行による利下げなどにより、豪国債利回りは2.3%まで低下しましたが、オーストラリア株式の配当利回りは4.7%となっており、魅力的な利回り水準と言えます(2015年6月末時点)。
- また、値上がり益(キャピタル・ゲイン)の大きさも寄与したと考えられます。オーストラリア株式は、同国の経済成長(過去10年の平均成長率:約2.8%)を享受してきました。また、多くの優良なオーストラリア企業が海外でも事業展開していることから、海外からの収益も期待できる資産と考えられます。



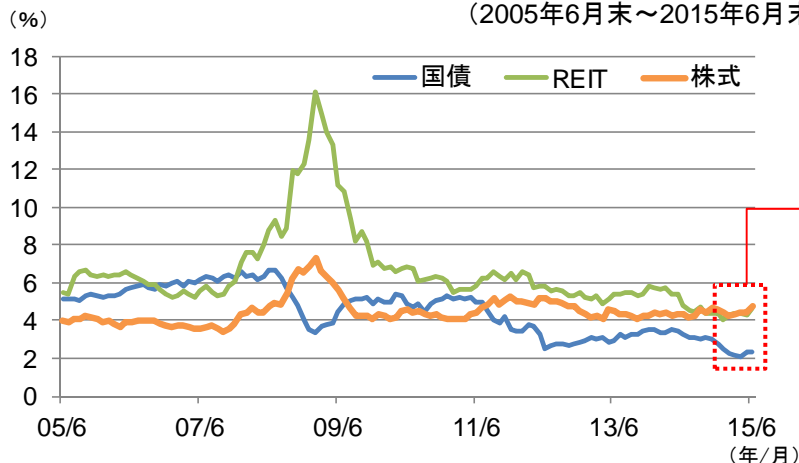
日興AMリミテッド
ポートフォリオ・マネジャー兼シニア・アナリスト
マイケル・モーム

【オーストラリア株式の配当利回りが高い理由①】

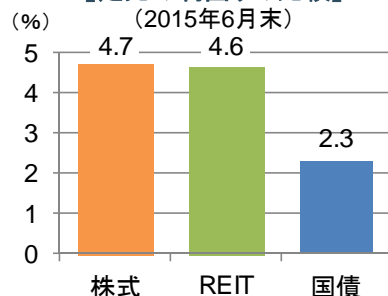
■ 現地投資家への配当課税の優遇制度

オーストラリアでは、現地投資家に対して配当課税の一部が還付される仕組みがあります。投資家は課税還付分を考慮して配当利回りやトータルリターンを計算するため、自然と企業に多くの配当を支払うインセンティブが働きます。

【オーストラリア資産の利回りの推移】 (2005年6月末～2015年6月末)



【足元の利回りの比較】



REITなどと比較しても遜色ない利回り水準

※株式: S&P/ASX 200指数、国債: シティ世界国債インデックス(オーストラリア)、REIT: S&P/ASX 200 A-REIT指数
いずれも実績ベース

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、当ファンドのマザーファンドを運用する日興AMリミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者が語るオーストラリア株式の魅力

～高い配当利回り水準と株価の出遅れ感～

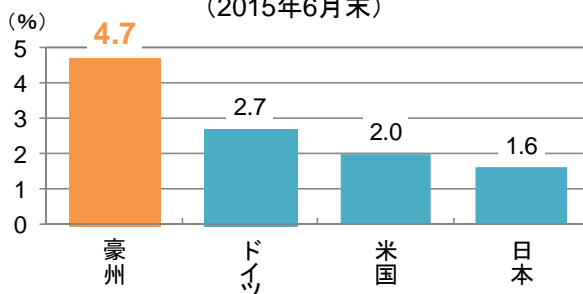
【オーストラリア株式の配当利回りが高い理由②】

■ オーストラリア株式市場に根付く株主還元のカルチャー

かつてイギリス領であった同国の株式市場には、昔から欧米などの海外投資家が多く参加していたため、株主還元のカルチャーが根付いており、海外株式市場を上回る利回り水準の配当を多くの企業が提供しています。

※豪州：S&P/ASX 200指数、ドイツ：DAX指数、
米国：S&P 500種、日本株式：TOPIX(東証株価指数)

【主要先進国株式の実績配当利回り】 (2015年6月末)

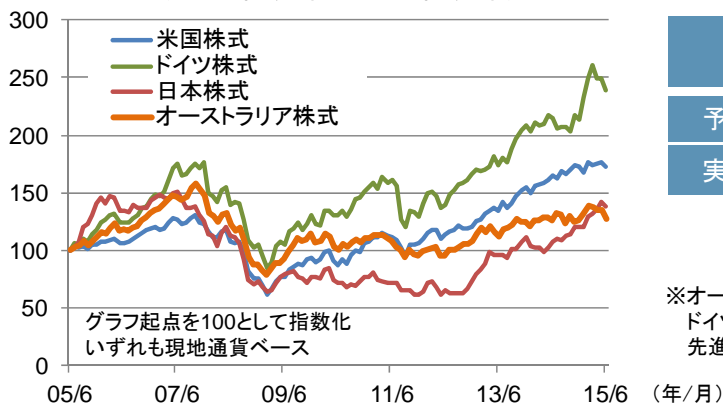


信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

【出遅れ感がみられるオーストラリア株式市場】

- オーストラリア株式市場はリーマン・ショック時に大きく下落した後、緩やかな上昇を続けてきました。ただし、積極的な金融緩和などを背景に欧米の主要株価指数が今年、史上最高値を更新したのに対し、オーストラリア株式の株価は、リーマン・ショック直前につけた高値を依然として下回っています。
- 足元の同国の経済成長が過去のトレンドを下回っているものの、豪州企業のファンダメンタルズは依然として堅調であることから、今後は個別割安株の上昇が期待されます。また、相対的に高い水準にある配当利回りが投資妙味となり、オーストラリア株式の出遅れは解消に向かうことが期待されます。
- 先進国株式と比較して、PER(株価収益率)やPBR(株価純資産倍率)が下回っているなど、バリュエーション面での魅力も大きいと判断されます。
- また、現地投資家への配当課税に対する優遇制度を背景に、2兆豪ドル(約190兆円)を超える豪年金基金(スーパーアニュエーション)の約24%(2015年3月末時点)はオーストラリア株式で運用されており、今後も同株式市場を下支えることが期待されます。

【主要先進国株式の推移】 (2005年6月末～2015年6月末)



【バリュエーションの比較】 (2015年6月末)

	オーストラリア株式	先進国株式	(ご参考) 米国株式
予想PER	16.0倍	17.1倍	17.5倍
実績PBR	2.0倍	2.2倍	2.8倍

※オーストラリア株式：S&P/ASX 200指数、米国株式：S&P 500種、
ドイツ株式：DAX指数、日本株式：TOPIX(東証株価指数)
先進国株式：MSCIワールド指数

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は、当ファンドのマザーファンドを運用する日興AMリミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの見通しと戦略

【ギリシャ問題と中国株式市場の影響】

- 株式市場全体では、現在ギリシャ問題を背景とした世界的な投資家のリスク回避の動きを受けて下落したものの、オーストラリア経済に対する直接的な影響は小さく、短期的な反応に留まるとみえています。ギリシャとの貿易取引はごくわずかであり、オーストラリア政府のギリシャ国債保有もほとんどありません。
- 現在過熱感のある中国株式市場には注意が必要と考えています。貿易取引など、オーストラリアは中国との経済的な関係が強く、中国株式が下落を続ける場合、中国経済の先行き懸念などから、需要減少の見方が拡がり、オーストラリア経済に影響する可能性があります。こうしたことを踏まえ、当ファンドでは、輸出関連株、特に資源関連株の投資比率を引き下げています。



日興AMリミテッド
ポートフォリオ・マネジャー兼シニア・アナリスト
マルコム・ウィッツテン

【セクターごとに異なる株価の変動要因】

- 配当利回りが高い傾向にあるオーストラリア株式市場ですが、各セクターで株価の動きは一樣ではありません。例えば、債券代替銘柄とされるインフラや公益などのセクターは、金利の影響を強く受ける傾向がみられます。つまり、金利上昇局面では価格が下がり、金利低下局面では上昇する傾向が強いと言えます。一方で、銀行セクターは配当利回りが高いものの、金利の影響を受ける傾向が相対的に弱くなっています。
- 当ファンドでは、そのほかにも、海外及び豪州内の様々な価格変動要因を捉え、その時々的情勢に応じた投資銘柄を選定することで、長期的に投資収益の最大化をめざします。

【当ファンドの戦略について】

- 当ファンドは主として、優良高配当銘柄への分散投資を行っており、銀行、生活必需、テレコム、保険の関連銘柄などの組入れ比率が高くなっています(2015年6月末時点)。ただし、足元では、堅調な米国経済と米ドル上昇の恩恵が見込まれる外需関連株や、低金利による恩恵が見込まれる住宅市場関連株、消費関連株の比率を引き上げました。具体的には、ヘルスケア、建築材料、インフラ等のセクターを強気に見ています。
- 当ファンドでは、引き続き、ボトムアップでバリュー銘柄に投資する当社の強みを活かしつつ、銘柄ごとに精査して投資を行なっております。

※上記は、当ファンドのマザーファンドを運用する日興AMリミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※個別セクターに言及していますが、これらの売買を推奨するものでも、ファンドへの組入れなどを約束するものでもありません。また、上記は、当ファンドの投資対象を限定するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

設定来の運用状況

<基準価額の推移>

(2008年9月26日(設定日)~2015年7月14日)



基準価額

税引前分配金再投資ベース **14,768円**
 税引前分配金控除後 **13,433円**

分配金実績(税引前、1万口当たり)

設定来合計 **1,080円**

(2015年7月14日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。

※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ベンチマークは、S&P/ASX 200指数(円換算ベース)です。

公表指数をもとに日興アセットマネジメントが円換算し、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

※S&P/ASX 200指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要(2015年6月末時点)

<株式業種別組入比率>

	業種	比率
1	銀行	26.0%
2	素材	18.4%
3	食品・生活必需品小売り	12.7%
4	その他	10.8%
5	保険	9.1%

※マザーファンドの状況です。
※比率は対組入株式時価総額比です。

<組入株式の予想配当利回り(年率換算)>

予想配当利回り	5.1%
---------	------

※上記予想配当利回りは、月末時点で組み入れている各組入株式の予想配当利回りをマザーファンド全体で組入株式時価評価額のウェイトで加重平均したものです。また、信託報酬等の費用を控除したものではありません。
※上記は、日興AMリミテッドの予想であり、当ファンドおよび組入株式の利回り、運用成果等について何ら約束するものではありません。

<株式組入上位10銘柄> (銘柄数:38銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	WOOLWORTHS LTD	食品・生活必需品小売り	8.27%
2	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	7.24%
3	TELSTRA CORPORATION LTD	電気通信サービス	6.82%
4	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	6.59%
5	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	銀行	5.76%
6	WESTPAC BANKING CORP	銀行	5.00%
7	JAMES HARDIE INDUSTRIES PLC-CDI	素材	3.77%
8	WESFARMERS LTD	食品・生活必需品小売り	3.70%
9	BHP BILLITON LTD	素材	3.60%
10	FLETCHER BUILDING LTD	素材	3.49%

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。
※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入を保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

販売用資料

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

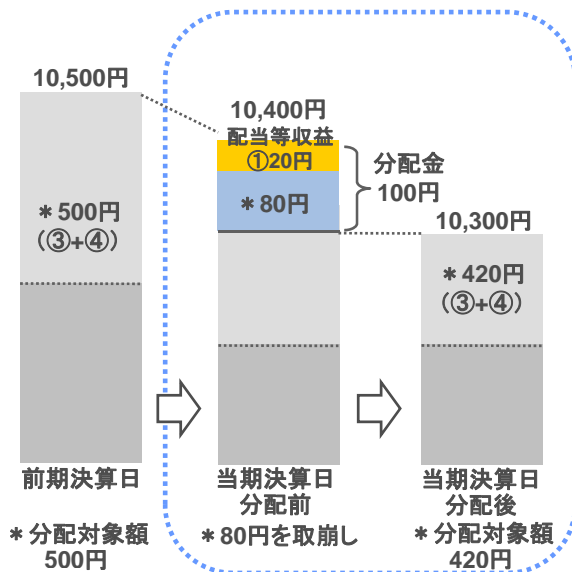
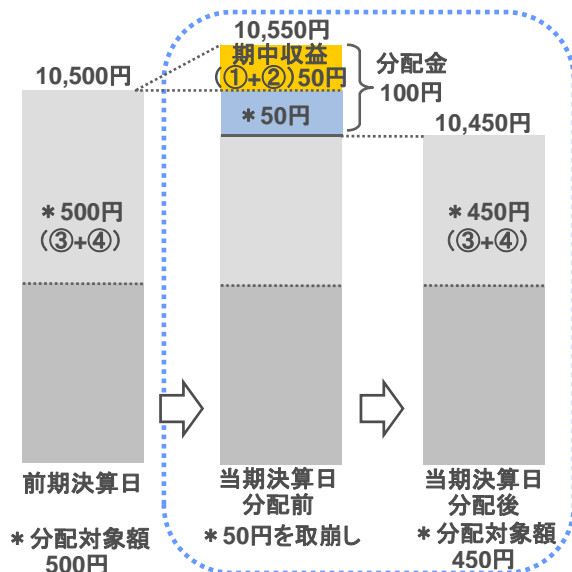


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

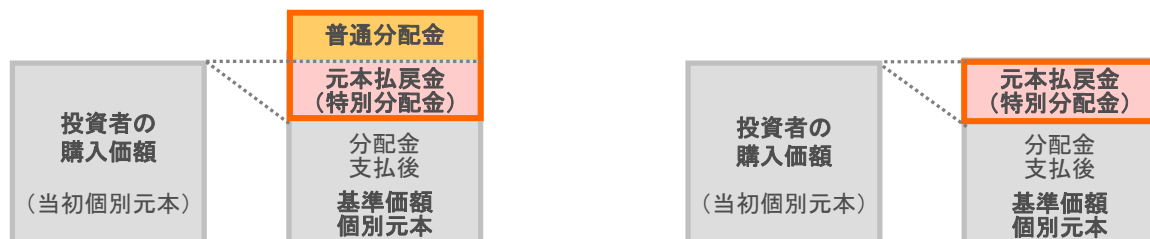


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、

(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. オーストラリアの株式を主な投資対象とします。
2. 日興AMリミテッドが運用を担当します。
3. 年4回(原則、2月、5月、8月、11月の各15日)決算を行ないます。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項①

●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】

・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みに際しての留意事項②

●その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がオーストラリア証券取引所の休業日、シドニーの銀行休業日、メルボルンの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2023年8月15日まで（2008年9月26日設定）
決算日	年4回。毎年2月、5月、8月、11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がオーストラリア証券取引所の休業日、シドニーの銀行休業日、メルボルンの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 購入時手数料率は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 ありません。
- 信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 純資産総額に対して年1.728%(税抜1.6%)を乗じて得た額
- その他費用 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 投資顧問会社 : 日興AMリミテッド
- 受託会社 : みずほ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 資産管理サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第52号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○

(50音順・資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。